

## 北九州市の治水対策について（河川事業）

治水対策は、人命や財産を自然災害から守るだけでなく、市民の生活を支え、暮らしを守る重要な社会資本整備の一つとなっている。

本市では、これまでも国や福岡県と連携して治水対策を進めてきたが、近年の気候変動の影響による激甚化、頻発化する豪雨災害にも備えた取り組みの強化が求められている。

### 1 市内を流れる河川

河川種別	管理者	河川数	市内延長	河川名
一級河川	国土交通大臣 県知事	9 河川	41.2 k m	遠賀川、笹尾川、江川など
二級河川	県知事	19 河川	97.0 k m	紫川、板櫃川、金山川など
準用河川	市長	24 河川	40.0 k m	朽網川、天籟寺川など
普通河川	市長	207 河川	215.9 k m	スタヌキ川、高瀬川など
合 計		259 河川	394.1 k m	

※河川法の適用を受ける河川が一級河川と二級河川、河川法の規定の一部を準用する河川が準用河川、その他の河川が普通河川。

### 2 これまでの主な豪雨災害

本市では、市内全域に甚大な被害をもたらした昭和28年6月の西日本大水害をはじめとして、平成11年6月の大雨など度重なる豪雨災害に見舞われてきた。

近年では、平成21年7月の九州北部豪雨や平成22年7月の大雨により、紫川や神嶽川などで2年連続して浸水被害が発生した。また、平成30年7月豪雨においては、板櫃川など市内31河川で川から水が溢れ、42箇所河川護岸の崩壊等が発生した。さらに令和5年梅雨前線豪雨では、4箇所河川護岸の崩壊等が発生した。

本市では、こうした災害の発生と同時に県と連携して速やかに対策を講じながら市民生活への影響を最小限に抑えるとともに、更なる豪雨に備え必要な治水対策に取り組んでいる。



平成21年7月  
神嶽川（旦過市場）



平成30年7月  
板櫃川（清水橋）



令和5年7月  
東谷川（呼野）

### 3 治水対策について <ハード対策>

#### (1) 対策の方針

一級河川及び二級河川については、河川法に基づき河川管理者が計画を策定し、国、県及び市が計画的に治水対策に取り組んでいる。

また、比較的規模が小さい準用河川、普通河川については、近年の浸水実績や河川周辺の状況などから総合的に判断し、緊急度の高い河川から計画を策定し、整備を行っている。

#### (2) 対策の内容

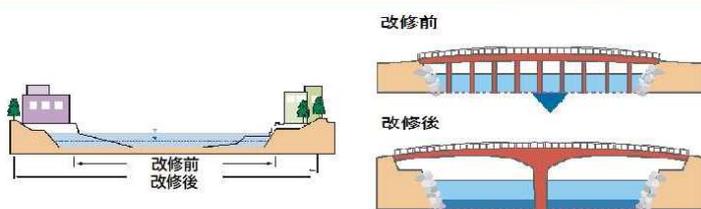
本市の治水対策は、河川の拡幅や川底の掘削などを基本としている。

一方、住宅が密集し河川改修が困難な市街地などにおいては、雨水を一時的に貯留し、川への流量を減らす調節池などの整備も進めている。

治水対策の基本的な考え方は、「**河川の水位を下げること!**」

「**広げる**」「**掘る**」「**貯める**」により、川の水位を下げます。

#### 広げる



川幅を広げて、河川の水位を下げます。  
また、橋を架け替えて、水を流れやすくします。



【恵比須橋】架替の状況

#### 掘る

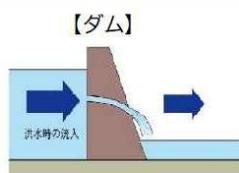


川底を掘って、  
川の水位を下げます。

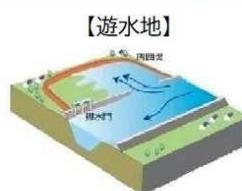


【紫川】河道掘削の状況

#### 貯める



【ダム】



【遊水地】

一時的に水を貯め、川に流れる水の量を減らし、河川の水位を下げます。

※イラスト：『国土交通省  
河川事業概要2023』より



金山川調節池 完成イメージ

(3) 対策を実施中の主な河川 資料 1

種別	河川名	事業主体	区	整備延長 (km)	事業着手
一級河川	遠賀川	国	八幡西区	48.20	明治 39 年
	笹尾川	市	八幡西区	1.77	昭和 63 年
	金剛川	市	八幡西区	1.44	昭和 63 年
	江 川	市	八幡西区 若松区	4.35	平成 7 年
二級河川	相割川	市	門司区	2.67	昭和 63 年
	紫 川	県	小倉北区 小倉南区	6.80	昭和 44 年
		市	小倉北区 小倉南区	2.20 1.50	昭和 62 年
	東谷川	県	小倉南区	3.45	平成 22 年
	神嶽川 (神嶽川、砂津川)	市	小倉北区	4.02	昭和 45 年
	板櫃川	市	小倉北区 八幡東区	3.20	昭和 45 年
	竹馬川	市	小倉南区	6.25	昭和 45 年
	貫 川	市	小倉南区	4.13	昭和 48 年
	金山川	市	八幡西区	8.00	昭和 49 年
	割子川	市	八幡西区	7.27	昭和 45 年
準用河川	大野川	市	小倉南区	0.62	平成元年
	朽網川	市	小倉南区	1.40	平成元年
	小熊野川	市	小倉北区	2.64	昭和 53 年
普通河川	スタヌキ川	市	門司区	調節池 約 19,000 m <sup>3</sup>	令和 3 年
	高瀬川	市	門司区	調節池 約 8,500 m <sup>3</sup>	令和 4 年

(4) 令和 6 年度完了予定の主な施設

金山川調節池 (小嶺)

(調節容量 : 40,000 m<sup>3</sup>、調節量 : 28 m<sup>3</sup>/s)



#### 4 河川情報システム等について <ソフト対策> **資料2**

本市では河川改修などのハード対策の推進に加え、災害時の迅速な避難等を支援するソフト対策の充実に努めている。

##### (1) 河川情報システムの強化

大雨時の迅速な避難を支援するため、河川監視カメラや水位計を設置  
今年度も新たに水位計を6箇所設置

(河川監視カメラ:市内37箇所/水位計:市内56箇所(R6.3末予定))

##### (2) 洪水浸水想定区域図等の作成、公表

水害リスク情報として、市内全ての一・二級河川やその水系の市管理河川について、「洪水浸水想定区域図・氾濫推定図」を作成、公表

#### 5 流域治水の推進

##### (1) 流域治水への転換 **資料3**

「流域治水」とは、近年の激甚化、頻発化する大雨等の水害リスクに備えるため、河川管理者等が主体となって行う治水対策に加え、国、自治体、企業、住民等、あらゆる関係者が協働して河川の流域全体で行う治水対策のことである。

##### (2) 本市の取り組み

###### 【遠賀川流域治水協議会】

- ・一級水系遠賀川において、令和2年に国、福岡県、本市含む21市町村で設立
- ・令和3年3月30日「遠賀川流域治水プロジェクト」を公表
- ・今年度、気候変動(2℃上昇)を考慮した「遠賀川流域治水プロジェクト2.0」への更新を公表

###### 【北九州・宗像圏域流域治水協議会】

- ・二級水系等において、令和3年に福岡県、宗像市、福津市、岡垣町、本市等で設立
- ・令和4年3月29日「北九州・宗像圏域流域治水プロジェクト」を公表

#### 6 今後の治水対策の取り組み

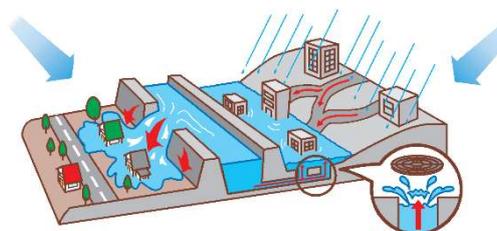
##### (1) 効率的、効果的な事業の実施

必要な予算を確保し、効率的な事業実施に努め、また効果的な事業執行に向けて、河川による外水氾濫のみでなく、内水氾濫の対策にも関係部局と連携し取り組む。

###### 外水 氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増して堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が堤防の外にあふれて起きる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。

##### <氾濫の種類>



###### 内水 氾濫

川があふれなくてもくぼ地などにおいて雨水が排水できずに浸水すること。的確なタイミングで警報が出ないため、注意が必要。

##### (2) 国や県への提案活動

「予算の確保」、「治水安全度向上のための連携強化」、「治水対策の着実な推進」についての提案活動を継続する。